

パーソナルファイナンス学会  
2024 年度会員総会 議事録

日時：2024 年 11 月 30 日（土）12：20～12：45

会場：早稲田大学国際会議場第 1 会議室

出席者数：24 名+委任状：26 通（- 9 名）=41 名

定足数（会員数の 1/10）：14 名

開催に先立ち、今年ご逝去された元会長の江夏健一氏、副会長の杉江雅彦氏、理事の井澤裕司氏、今井雅和氏のご冥福を祈り黙とうを捧げた。

坂野会長より、会場参加 24 名とはがきでの委任状 11 通+WEB での委任状 15 通から重複する 9 名を除くと 41 名となり、定足数を満たしていることが確認された。

## 報告事項

### 1. 各委員会・部会活動

報告事項の各委員会・部会活動については、時間節約のため各自ご参照いただきたいと依頼がなされた。

坂野会長より、資料 1 ページの 4) 研究・出版助成委員会の報告として、2024 年度の研究助成として、徳島大学の趙彤先生からの申請に支給したことが報告された。

続いて 6) 部会報告について、西部部会はずでに資料の通り 8 月に開催しており、第 2 回の開催が予定されていること、東部部会については、オンライン開催で年度内に開催予定であることが報告された。

続いて、学会賞委員会の前田委員長より 2024 年度研究奨励賞に尾室拓史氏（昭和女子大学現代ビジネス研究所研究員）の“DOES THE USE OF COMMUNITY CURRENCY CHANGE PAIN OF PAYING AND WILLINGNESS TO PAY?”（International Journal of Community Currency Research, 2023, 27, .21-32）が受賞したとの報告がなされた。地域通貨における地域活性化目的の提示が消費者の支払意思額と支払の痛みに与える影響を実証的に分析した論文であり、この研究奨励賞は比較的研究歴の浅いという意味で若い方を対象にしている賞であることが説明された。審査は 3 名で行い、今後学会での研究発表や議論に加わっていただきたいという期待が込められているとの補足がなされた。

### 2. 2023 年度（第 24 期）監査報告

清水監事より、資料に基づき 2024 年 4 月 28 日に金崎監事、5 月 2 日にご本人による監査が終了したと会計が正確に処理されているとの報告がなされた。

### 3. 2024 年度（第 25 期）中間決算

坂野会長より、ほぼ例年どおりであるが、今年は杉江先生、江夏先生がご逝去されたことがあり、予備費から供花代を支出したことが報告された。

## 審議事項

### 1. 2025 年度第 26 回全国大会について

坂野会長より、2025 年度に全国大会を開催していただける大学を募集することが提案され、了承された。オンライン開催であれば比較的開催しやすいが、対面であると施設料やアルバイト学生の確保など負担が考えられるため、すぐの応募や推薦は難しいと思われるがぜひ検討をされたいとの要請がなされた。

### 2. 2025-2027 年度役員改選について

坂野会長より資料に基づき、2025-2027 年度の役員改選について説明がなされ、2025 年 1 月中旬以降に郵送による役員選挙を実施することが提案され、了承された。

### 3. 入会・退会について

坂野会長より、資料に基づき 2 名の入会と過去年度の未報告退会者を含めて入退会者が報告され、了承された。現在は個人会員 115 名、法人会員 3 社であることが確認された。

最後に午後のプログラムが紹介されたあと、ご参集のお礼が述べられ閉会となった。

(文責 リエゾンオフィス)